

2003年3月期
中間決算概要

— 予定通り黒字を確保し、財務体質も更に改善 —

2002年11月21日



千代田化工建設株式会社

1. 業績概要(連結P/L)

単位: 億円

	2001/9	2002/9	増減	期首時点 2002/9予想
受注高	991	1,012	21	— *1
受注残高	1,985	2,672	687	— *1
売上高	716	693	▲ 23	800
営業利益	▲ 19	10	29	— *2
経常利益	▲ 18	16	34	15
中間利益	2	25	23	3

*1 出しておりません。通期予想は受注高2,200億円、受注残高2,800億円です。

*2 出しておりません。通期予想は17億円です。

- 受注は堅調。受注残高は大幅増加
- 売上高は主に「期ずれ」により期首予想を若干下回った
- 営業利益・経常利益は期首予想を達成し、黒字転換
- 中間利益は期首予想を22億円上回った

2. 業績概要(連結B/S)

単位:億円

	2002/3	2002/9	増減		2002/3	2002/9	増減
流動資産	1,023	1,104	81	流動負債	1,009	1,036	27
現金及び預金	405	401	▲ 4	短期借入金	175	130	▲ 45
営業資産三勘定	515	563	48	営業負債三勘定	741	816	75
その他流動資産	103	140	37	その他流動負債	93	90	▲ 3
-----				-----			
固定資産	270	241	▲ 29	固定負債等	133	138	5
				長期借入金	107	105	▲ 2
				その他固定負債等	26	33	7
				資本	151	171	20
資産	1,293	1,345	52	負債・資本等	1,293	1,345	52

【注】

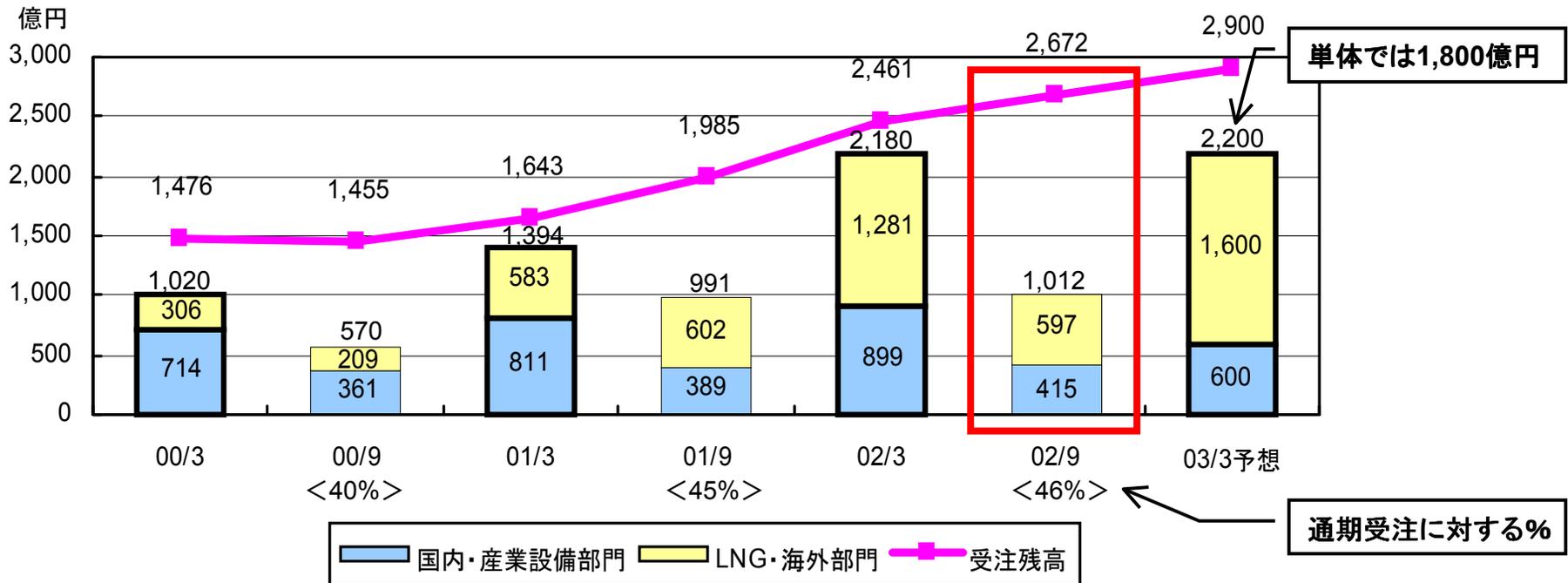
営業資産三勘定 = 受取手形 + 完成工事未収入金 + 未成工事支出金

営業負債三勘定 = 支払手形 + 工事未払金 + 未成工事受入金

有利子負債 = 短期 130 + 長期 105 = 235

- 有利子負債は更に46億円圧縮の235億円へ
- 現預金はほぼ横ばいの401億円
- この結果、引き続き実質無借金
(165億円の預金超過)
- 固定資産は長期滞留債権回収を主因に
29億円の減少
- 株主資本比率は12.7%に改善(前期11.7%)

3. 堅調な受注（連結）



【2002年9月中間期の主な受注工事】

	LNG・海外部門	国内・産業設備部門
100億円以上	メタノールプラント建設工事（サジアビア） LNGプラント増設工事（カタール）*	LPG国家備蓄プロジェクト*
100億円未満	貴州酢酸プロジェクト（中国）	特殊化学品設備改造工事（三菱瓦斯化学）

* JVによる受注（金額は当社分）

- ・ 受注は堅調。下期も有望案件が控えており、通期では期首予想の連結2,200億円(単体1,800億円)を確保の見込み。
- ・ この結果、年度末受注残高は連結2,900億円の相応のレベルへ

【国内市場】 当社得意分野は堅調



【海外市場】 原油高を反映、中東を中心に回復基調

- ・ 火力発電のLNGへの燃料転換 ➡ LNG関連案件
- ・ 天然ガス原料 ➡ 大型ガス化学案件(エチレン・メタノール・肥料)

【当社努力】

- ・ 営業基盤(顧客や国・地域)の維持・強化
- ・ 競争力(価格・技術・プロジェクト遂行力)の維持・強化
- ・ リポートオーダーや随意契約を狙う営業戦略

4. 2003年3月期業績予想(連結)

単位: 億円

	2002/3	2003/3予想	増 減	期首時点2003/3予想
受注高	2,180	2,200	20	2,200
受注残高	2,461	2,900	439	2,800
売上高	1,415	1,700	285	1,800
営業利益	▲ 51	15	66	17
経常利益	▲ 34	19	53	20
当期利益	1	18	17	5

- 売上高は「期ずれ」等により期首時点予想を若干下回る(前期比では20%増)
- 営業利益・経常利益共に黒字転換(連単共)
- 当期利益は期首予想を上回る

— 以上 —